

# 現場の近隣や環境にも配慮 フットワークのよさと誠意ある仕事で 高い顧客満足度を誇る解体工事のプロ

三晃商事

三晃商事（横浜市港北区鳥山町、佐々木富見夫社長、045・474・1175、<http://www.sankou230.jp>）は、横浜にて不動産業・解体工事業を営んで30余年になる。昭和49年9月に設立し、昨年7月横浜西区から当地に移転した。

お施主様はもちろん、現場の近隣の皆様にも「真面目」と「誠実」をモットーに、解体工事のプロとして顧客満足度No.1をめざしている。まず現場調査を徹底的に行い、詳細な見積書を作成・提出してお

施主さまにご確認・ご納得いただいた上で契約する。また、工事前建設リサイクル法に基づき、関係各庁に各種届出を行うとともに、お施主様と近隣にご挨拶させていた

その後、本工事が始まると、騒音や埃を防ぐためシートや防音シートをかけて足場養生を組み立てる。畳やサッシ、断熱材、建具など手作業で撤去できるものを撤去して内装から解体を行い、壁や屋根、梁、柱など残った上屋、建物全体の

解体へと進む。埃が飛ばないように水を撒きながら作業に取組んでいる。

廃材の分別・収集・搬出についても、現場で木材・鉄・プラスチック・コンクリートガラなどに廃材を分別し、重機などで整地を行った後、場合によっては客土や碎石を敷いて見栄えをととのえるなど細かく配慮をしている。また、マニフェストに従って廃棄物の処理を行い、排出事業者として最後まで確実に管理する。

社員数は少なくても、活発に意見を交換しながら常に前向きに問題を解決する社風のもと、大手にはないフットワークのよさを活かし、時代に即した商品・サービスのご提供を通じて社会に貢献できる会社をめざしていく。



周囲の環境にも配慮を怠らず、迅速に解体工事を進める

